



第 12 回 東京エリア Debian 勉強会 事前資料

Debian 勉強会会場係 上川純一*

2006 年 1 月 21 日

* Debian Project Official Developer

目次

1	Introduction To Debian 勉強会	2
1.1	講師紹介	2
1.2	事前課題紹介	2
2	Debian Weekly News trivia quiz	4
2.1	2005 年 50 号	4
2.2	2005 年 51 号	5
2.3	2005 年 52 号	5
2.4	2006 年 1 号	6
2.5	2006 年 2 号	6
3	最近の Debian 関連のミーティング報告	8
3.1	東京エリア Debian 勉強会 11 回目報告	8
4	Debian Policy 入門 第 1 回	9
4.1	Debian ポリシーとは	9
4.2	debian-policy マニュアルの構成	9
4.3	サブポリシーマニュアルについて	12
4.4	どのようにしてポリシーが決まるのか	13
4.5	次回	14
5	コミケの報告	15
5.1	イベントについて	15
5.2	本の内容	15
5.3	印刷	15
5.4	販売結果	16
5.5	次回のコミケ	16
6	個人提案課題	17
7	グループ提案課題	18
8	次回	19

1 Introduction To Debian 勉強会

上川純一



今月の Debian 勉強会へようこそ。これから Debian のあやしい世界に入るという方も、すでにどっぷりとつかっているという方も、月に一回 Debian について語りませんか？

目的として下記の二つを考えています。

- メールではよみとれない、もしくはよみとってられないような情報を情報共有する場をつくる
- まとまっていない Debian を利用する際の情報をまとめて、ある程度の塊として出してみる

また、東京には Linux の勉強会はたくさんありますので、Debian に限定した勉強会にします。Linux の基本的な利用方法などが知りたい方は、他でがんばってください。Debian の勉強会ということで究極的には参加者全員が Debian Package をがりがりと作りながらスーパーハッカーになれるような姿を妄想しています。

Debian をこれからどうするという能動的な展開への土台としての空間を提供し、情報の共有をしたい、というのが目的です。次回は違うこと言ってるかもしれませんが、御容赦を。

1.1 講師紹介

- 岩松さん 普段は SuperH ですが、今日はポリシーの人です。
- 上川純一 宴会の幹事です。

1.2 事前課題紹介

今回の事前課題は「2006 年の Debian 勉強会でやりたいこと」というタイトルで 200-800 文字程度の文章を書いてください。というものでした。その課題に対して下記の内容を提出いただきました。

1.2.1 岩松さん

- ユーザー向けになんかやる
去年は開発者をターゲットにした勉強会だったが、今年は一般ユーザーを対象にしたことをやりたい。例えば、Debian でムービーを見るにはどうしたらいいのかなど。その前にインストールは全然大変じゃないことを教えてあげないといけないかも。
- 出張勉強会をやる
去年は関西オープンソースだけだったけど、OSC とかでもやれたらいいな。
- Debian ポリシー
今年から始める Debian ポリシー入門をコンスタントに続けれるようにしたい。

1.2.2 えとーさん

デベロッパー向けがメインだった Debian 勉強会でユーザ寄りのことも行なうようになったので、その中で出来ることをすこしずつやって行きたいと思います。

ユーザ寄りと言っても濃いユーザ寄りの情報交換 (or 情報発信) の場として育って行くとうれしいです。新人発掘のためになにか出来るとういことと思いますが、まず自分が新人になるところからでしょうか、デベロッパーはちょっ

と辛いのですが、qwik のメンテを通してなんかできるようになりたいなと思います。

1.2.3 澤田さん

やりたいこと、debian policy ですね。一カ月ぐらい前に dh-make-perl を知って、そういえば Perl のモジュールパッケージって `lib$(echo $module | tr A-Z a-z | sed -e 's/::/-/g')-perl` という命名規則になってるな～と思いそこらへんをもっと知りたくなりました。パッケージ名以外にも、このファイルはどこに置くべき逆にここに置いてはいけないとか、Recommends にするか Suggests にするか判断基準とか、-common に分ける判断基準とか。

聞いてばかりなので発表もしてみたいですね。持ちネタがあまりありませんが。

1.2.4 吉田さん

2006 年の Debian 勉強会でやりたいこと「やってほしいこと」ではなく、「やりたいこと」などところに個人的に危険な香りを感じますが、それは置いておいて... やってみたいこと、「野良 Debian パッケージの作り方」「使いたいアプリ/機能が公式パッケージにない、複数マシンにインストールしたり、環境再構築時に楽をしたい、新規パッケージは statble に入らないから sid とか upstream から持ってきてたいぞ」といった欲望のままにパッケージを作りたい人のための勉強会オフィシャルデベロッパーとか英語で ITP/RFP が出来る人にはまるで無意味な勉強会をやってみたい。

#オフィシャルデベロッパー向けの勉強会とセットでやるともっと面白いかも...

1.2.5 中島さん

歩行やキーボードを叩くのが困難な身体に障害をもつユーザの方に実際に使用していてユーザビリティはどうか。などを教えていただく。テキスト読み上げるブラウザや点字出力など、そういった障害者用のソフトを集めて使い勝手の良さなどを教えてもらいたい。あとどうやってインストールしたのかなど聞かせていただきたい。どのような使い方、使用目的は何か。などあれば教えていただきたい。キーボードやタッチパネルはどこのメーカーのが良く。どんな入力の仕方をしているのか。そういうことをぜひ聞いてみたい。

1.2.6 上川

昨年はてさぐりで Debian 勉強会を開始しました。昨年の段階では継続して勉強会をすることがはたしてできるものなのか、というのも明確ではなかったと思います。今年は、勉強会をすること自体は可能だということをふまえて、参加していて意味のある内容として継続できるものを模索していきたいと思っています。

2 Debian Weekly News trivia quiz

上川純一



ところで、Debian Weekly News (DWN) は読んでいますか？ Debian 界隈でおきていることについて書いている Debian Weekly News. 毎回読んでいるといろいろと分かって来ますが、一人で読んでいても、解説が少ないので、意味がわからないところもあるかも知れません。みんなで DWN を読んでみましょう。

漫然と読むだけではおもしろくないので、DWN の記事から出題した以下の質問にこたえてみてください。後で内容は解説します。

2.1 2005 年 50 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2005/50/> にある 12 月 13 日版です。

問題 1. www.skolelinux.org についてでた提案ではないのはどれか

- A バグトラッキングシステムを共有する
- B 関係者の blog を planet でアグリゲートしたりする
- C こっそりと人を誘拐してメンバーを増やす

問題 2. Branden Robinson が Tuxjournal でのインタビューで、Debian の成功に貢献したものとしてあげたのは

- A 自由なライセンスを強調する人達とソフトウェアの品質を強調する人達がそれぞれ貢献できてきたこと
- B Ruby をがanganつかってコードを書いた事
- C お互いに仲のわるい開発者たちが足をひっぱりあいながらお互いを潰しあっていたこと

問題 3. GPL でリリースされているゲームボーイ用のエミュレータは main にいれてもよいのか

- A フリーのゲームを開発しているグループがあるため、main にいれてもよい
- B ゲームは商用のゲームしか存在しないため contrib に入れる必要がある
- C エミュレーションという不純な動作は non-free にあるべきだ

問題 4. pkg と pkg-data に分割する場合の確認項目について Bill Allombert は投稿した。そこで説明していなかったのは

- A パッケージ名は pkg と pkg-data にしてほしい
- B pkg-data は architecture: all にしてほしい
- C pkg-data のサイズは 5MB を越えていることが望ましい

問題 5. tetex の設定ファイルについて Frank の提案したのは？

A /usr/share/texmf にデフォルトがあり、/etc/texmf にアドミニストレータの設定があり、HOME/texmf に各ユーザの設定がある構成

- B Debian メンテナが一番偉いのでユーザの設定を無視して、世界統一の設定にすること
- C Debian menu システムの設定システムが優秀なので、それをそのまま採用すること

2.2 2005 年 51 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2005/50/> にある 12 月 20 日版です。

問題 6. debianforum.de は開始何年たったか

- A 3 年
- B 4 年
- C 5 年

問題 7. Jaldhar H. Vyas はインドでは通信が困難なので、雑誌に付録として Debian を付けたいと提案しました。ただ、コストがかかるので、DVD 1 枚におさめたいと説明しました。Joerg Jaspert の回答は

- A Cebit などの展示会で利用するためにすでに作成したことがあるので結構簡単だよ、と回答した
- B そんなものをつくるのがおこがましい
- C ソースだけだったら 1 枚でもいけるかも

問題 8. `lsb` の起動スクリプトの利用方法について検討していた際に、エラーが発生した場合にコマンド自体のエラーが画面に出力されて表示がみだれることに対して提案されたのは

- A エラーは `/dev/null` へ
- B エラーなんておきないようにする
- C エラーなどを `syslog` に送信してみる

問題 9. `dpkg-sig` を含むパッケージが Debian archive にアップロードできなくなっていたのは。

- A `dpkg` にそんな機能拡張はしてはいけないという主義主張の問題
- B 予期しない原因で `jennifer` のチェックが厳しすぎたため
- C 実は `dpkg-sig` なんてものはなかった

問題 10. `TexLive` パッケージのライセンスで Joerg Jaspert がおかしいと指摘したのは

- A Live という名前がダメだ
- B `tex` は時代遅れです
- C DFSG という謎のライセンスを利用している部分が存在した

2.3 2005 年 52 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2005/52/> にある 12 月 27 日版です。

問題 11. Norbert Tretkovski は、backports.org で何がおきたと発表したのか。

- A backports.org が `etch` に対応した
- B backports.org のメンテナンスをあきらめた
- C backports.org が `sarge` に対応した

問題 12. <http://wiki.debian.org/StatusOfUnstable> は何を説明してくれるページか

- A 現状の `unstable` で何がおきているのかをまとめている wiki ページ
- B `unstable` であるということはどういうのかといういを熱く語るスレッド
- C 今どういうことが `unstable` になりえるのかということを解説しているページ

問題 13. Kevin Locke が発表した `powermgmt` プロジェクトは何をするものか

- A Debian の中での共通の電源管理用のインフラを提供することを目標とする
- B ハックに必要な栄養の補給方法について検討することを目標とする
- C 権力をいかに分配するのかということについて検討することを目標とする

2.4 2006 年 1 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/01/> にある 1 月 3 日版です。

問題 14. Debian パッケージを圧縮しなおすことで一番小さくできたのはどの圧縮ソフトウェアか

- A gzip
- B bzip2
- C 7-zip

問題 15. apt-torrent は何をするものか

- A apt 風のインタフェースで bittorrent を利用できるツール
- B apt のパッケージダウンロードを bit-torrent 経由で実行するためのツール
- C 海流予測用ツール

問題 16. vim-tiny は何をするものか

- A nvi のかわりにデフォルトにするためにつくられた
- B ただ vim を小さくしてみました
- C vim の機能はむだなものが多いので、普通いらないだろうというものだけにしてみた

問題 17. Lars Wirzenius の提案したのは何か

- A Debian の品質改善のための提案
- B Debian のパッケージ削減のための提案
- C Debian の利用方法の改善のための提案

2.5 2006 年 2 号

<http://www.debian.org/News/weekly/2006/02/> にある 1 月 10 日版です。

問題 18. Technical Committee に参加した新メンバーは誰か

- A Steve Langasek, Anthony Towns, と Andreas Barth
- B Wichert Akkerman, Jason Gunthorpe, と Guy Maor
- C Branden Robinson, Kenshi Muto, と Goto Masanori

問題 19. カーネルに存在していた non-free firmware blob については現状どうなっているか

- A 進展がない
- B ライセンスを変更することで全て対処した
- C request firmware というフレームワークによりユーザ空間に移動した

問題 20. apt-get update で gpg エラーが発生した、これは何か

- A Debian のアーカイブに侵入されたため
- B Debian アーカイブ署名キーが毎年かわるため、2006 年用のものに変更する必要があった
- C gpg はもうサポートされていない

問題 21.

A

B

C

3 最近の Debian 関連のミーティング報告

上川純一



3.1 東京エリア Debian 勉強会 11 回目報告

12 月の第 11 回 Debian 勉強会を実施しました。今回は一年間の Debian 勉強会をやってみて、の反省会を主としてやりました。今回の参加人数は 9 人でした。議論された点を以下に紹介します。

今年の Debian 勉強会をふりかえってみました。毎回の参加人数とか、どういうトラブルがあったのか、を振り返りました。また、どういう企画があったのか、ということも説明しました。

Debian 勉強会のインフラについて説明しました。特に、TeX でのソースがどう作成されているのか、ということと、hyperref パッケージで dvipdfmx 経由で処理した場合に、URL などがハイパーリンクとして PDF で見れるということに新鮮なおどろきを感じていただけたようでありがたいです。また、クイズ専用マクロとかが回をかさねてどんどん成長しているため、TeX 以外で原稿を書くのがどんどん難しくなる、ということも説明しました。

今後の企画としては、さらに Debian 関連の知識をコアなメンバーの人達にはきだしてもらいたい、ということと、グループワークをたまにはやりたいね、という話がでました。また、現在一人 1 時間以上の時間をかけて説明しているのですが、それではなく、ライトニングトークのような感じでのプレゼンテーションで軽くできるとよいな、という意見が出ました。他のディストリビューションの人を呼んで、このディストリビューションはここがよいぜ、というのを主張してもらおう、という企画もできたらいいな、という意見も出ました。また、今後の企画として、web page はどうですか、という話をやまねさんに、boot するディストリビューションの開発についてみつかさんに、HCL の話をむとうさんに、Debian JP どうなっているのよという話を gniibe さんにしていただけたらいいなあ、という話がでました。

宴会は「安安」という店で焼肉を食べました。日本語がなかなか通じなくてこまりました。その後、Dennies でデビルズチョコレートサンデー。

4 Debian Policy 入門 第 1 回

岩松



4.1 Debian ポリシーとは

Debian GNU/Linux のポリシーです。Debian GNU/Linux として守るべき方針についてまとめられたものです。Debian パッケージの内部構成やオペレーティングシステムとして必要な設計部について示されており、ドキュメント化されています。

これらのドキュメントには debian-policy マニュアルと他の部分について補足するサブポリシーマニュアル があります。現在の debian-policy マニュアルバージョンは 3.6.2.2 です。毎日議論され、修正が加えられています。

4.2 debian-policy マニュアルの構成

debian-policy マニュアルの構成はどうなっているのか。

主に Debian パッケージの内容になっています。以前は debian-policy マニュアルと Debian パッケージングマニュアルに分かれていたのですが、統合されました (3.2.1.1 で統合)。

以下に debian-policy の内容をリストにしてみました。

4.2.1 Debian アーカイブ

- Debian Free Software Guidelines (DFSG) とはなにか
- main / contrib / non-free セクションの説明および各セクションに収録されるパッケージの条件について
- Copyright の問題について
- サブセクションについて
- パッケージに対するプライオリティについて

4.2.2 バイナリパッケージについて

- パッケージ名について
- パッケージのバージョンについて日付に基づいたバージョン番号の付け方
- メンテナーのパッケージについて
- パッケージの説明についてパッケージの簡単な説明についてパッケージの詳細な説明について
- パッケージの依存について
- バイナリパッケージ
- ベースシステムについて
- エssenシャルなパッケージについて
- メンテナースクリプト

4.2.3 ソースパッケージについて

- 規格への対応
- パッケージ関係

- 上流パッケージソースの変更について
- Debian changelog (debian/changelog) 代替の changelog 形式
- Makefile 内でのエラーのトラップについて
- タイムスタンプスタンプ
- ソースパッケージの中の物における制限
- メインビルドスクリプト: (debian/rules)
- Variable substitutions: (debian/substvars)
- 生成されたパッケージリスト: (debian/file)

4.2.4 コントロールファイルについて

- コントロールファイルの構文について
- ソースパッケージ制御ファイル (debian/control)
- バイナリパッケージ制御ファイル (debian/control)
- Debian ソース制御ファイル-.dsc
- Debian Change ファイル-.changes
- コントロールファイルのフィールドリスト
- ユーザによって定義されたフィールド

4.2.5 パッケージメンテナンススクリプトとパッケージがインストールされる手順について

- パッケージメンテナスクリプトの序論
- メンテナスクリプトの再入結果の同一性
- メンテナスクリプトからのターミナルの制御
- メンテナスクリプトの呼ばれ方の詳細
- インストールおよびアップグレードのアンパックフェーズの詳細
- 詳細な構成
- パッケージの削除とパッケージ設定の完全削除の詳細

4.2.6 パッケージ同士の関係について

- パッケージ関係フィールドの構文
- バイナリの依存について (Depends, Recommends, Suggests, Enhances, Pre-Depends の説明)
- バイナリパッケージのコンフリクト (Conflicts)
- バーチャルパッケージ (Provides)
- ファイルを上書きし、パッケージを置き換える (Replaces) 他のパッケージの中のファイルを上書きするパッケージの削除を強制して、全体のパッケージを置き換える

4.2.7 共有ライブラリについて

- ldconfig
- ランタイムサポートプログラム
- スタティックライブラリ
- 開発ファイル
- 同じライブラリのパッケージとの依存関係
- ライブラリと他のパッケージとの依存 (shlibs システム) システム上の現在の shlibs ファイル dpkg-shlibdeps と shlibs ファイルの使い方について shlibs File フォーマット shlibs ファイルの提供する debian/shlibs.local

file を書く

4.2.8 オペレーティングシステムについて

- ファイルシステム階層構造 (FHS)
- ユーザとグループ
- システムランレベルと init.d スクリプト
- init.d スクリプトからのコンソールメッセージ
- Cron ジョブ
- メニュー
- Multimedia handler(MIME)
- キーボード構成
- 環境変数
- doc-base パッケージを使ったドキュメントの登録方法

4.2.9 各種ファイルについて

- バイナリファイル
- ライブラリファイル
- 共有ライブラリ
- スクリプト
- シンボリックリンク
- デバイスファイル
- 設定ファイル
- ログファイル
- パーミッションと所有者

4.2.10 アプリケーションの変更について

- アーキテクチャ指定のための文字列
- デーモン
- 仮想 tty の使用、wtmp,utmp,lastlog 等の更新について
- エディタとページャについて
- Web サーバーとアプリケーション
- メール配送、配信、ユーザーエージェント
- ニュースシステムの設定
- X Window System 用のプログラム
- Emacs Lisp プログラム
- ゲーム

4.2.11 ドキュメントについて

- マニュアル (man pages)
- Info フォーマットのドキュメント
- 追加ドキュメント
- ドキュメントの管理
- 推奨されるドキュメント形式

- 著作権関連情報
- 設定例
- Changelog ファイル

4.2.12 付録

- Debian パッケージ パッケージングマニュアル

4.3 サブポリシーマニュアルについて

メインのものは `debian-policy` として存在し、そのほかに Emacs や Perl に関してのサブポリシーマニュアルというものが存在します。以下にサブポリシーマニュアルの簡単な説明を書きます。

4.3.1 build-essential パッケージの一覧

`debian` のシステム起動に必要なパッケージをリストにしています。このパッケージが規定されているドキュメントは

`/usr/share/build-essential/list`

になります。build-essential のリストは

`/usr/share/doc/build-essential/essential-packages-list`

に書かれており、build-essential としてパッケージに収録されています。(アーキテクチャによって内容が異なります。)

4.3.2 メニューシステム

menu システムを使うためのポリシー。引数を持たずに起動可能なアプリケーション (GIMP や xChat など) はメニューを使って起動できるようにするべきであり、どのようなアプリケーションがどのメニュー項目に入れるべきであるか、書かれています。`debian-policy` パッケージに収録されており、

`/usr/share/doc/debian-policy/menu-policy.txt.gz`

にインストールされます。

4.3.3 MIME サポート

MIME(Multipurpose Internet Mail Extension RFC1521) をサポートするためのポリシーです。MUA やウェブブラウザで MIME を扱えるようにできる仕組みのようです。`debian-policy` パッケージに収録されており、

`/usr/share/doc/debian-policy/mime-policy.txt.gz`

にインストールされます。

4.3.4 Emacs ポリシー

Emacs に関連するパッケージは、サブポリシードキュメントに従うことが求められています。それをまとめたものが Emacs ポリシーです。`emacs-en-common` パッケージに収録されており、

`/usr/share/doc/emacs-en-common/debian-emacs-policy.gz`

にインストールされます。

4.3.5 Java ポリシー

Java に関連するパッケージのサブポリシー。ドキュメントは `java-common` パッケージに収録されており、

`/usr/share/doc/java-common/debian-java-policy/index.html`

にインストールされます。

4.3.6 Ruby ポリシー

Ruby に関連するパッケージのサブポリシー。ruby パッケージに収録されており、ドキュメントは `/usr/share/doc/ruby/ruby-policy.txt.gz` にあります。

4.3.7 Perl ポリシー

Perl に関連するパッケージのサブポリシー。debian-policy パッケージに収録されており、`/usr/share/doc/debian-policy/perl-policy.txt.gz` にあります。

4.3.8 Python ポリシー

Python に関連するパッケージのサブポリシー。python パッケージに収録されており、`/usr/share/doc/python/python-policy.txt.gz` にインストールされます。

4.3.9 Debconf 仕様書

Debconf のための仕様書。現在プロトコル 2。debian-policy パッケージに収録されており、ドキュメントは `/usr/share/doc/debian-policy/debconf_specification.txt.gz` にあります。

4.3.10 スpell辞書・ツールポリシー

パッケージの中で使う単語や ispell パッケージや myspell パッケージのためのポリシー。2003 年ごろからメンテナンスされてません。ドキュメントは <http://dict-common.alioth.debian.org/> にあります。

4.4 どのようにしてポリシーが決まるのか

4.4.1 policy-process

`/usr/share/doc/debian-policy/policy-process.html/` に debian ポリシーの決め方が書かれています。

4.4.2 debian-policy@list.debian.org (ML) があります

ポリシーに関する疑問はこの ML に投げるといいでしょう。policy-process に則って、ここで議論され、承認されたときに debian-policy として反映されます。

4.4.3 debian-policy というパッケージがあります

間違いや提案はこのパッケージに対して BTS を行います。BTS されたメールは debian-policy@list.debian.org に forward されます。

4.4.4 debian-policy のメンテナ

現在の debian-policy のメンテナは以下の 4 人です。

- Julian Gilbey devscripts,tetex のメンテナ
- Branden Robinson X Strike Froce
- Josip Rodin debbug , lintian のメンテナ

- Manoj Srivastava make , selinux のメンテナ

4.5 次回

次回からは、debian-policy を一つずつチェックして、つっこんだ解説をしていこうと思っています。

5 コミケの報告

岩松



Debian 勉強会で作成した資料を本にし、コミックマーケットで販売をしました。以下に報告します。

5.1 イベントについて

- イベント名
コミックマーケット 69
- 開催日時
2005 年 12 月 30 日
- 場所
東京ビックサイト
- 出展
行いませんでした
- 委託先
美紗緒ネットワーク さん
ありがとうございました。

5.2 本の内容

2005 年 7 回勉強会 ~ 2005 年 10 回勉強会の勉強会資料

2005 年 7 回勉強会 ~ 2005 年 10 回勉強会 Debian Weekly News trivia quiz および答え

5.3 印刷

- 印刷所
キンコーズ 市ヶ谷店
- 印刷数
50 部
- 表紙代
380 円
- 中閉じ代
7500 円
- コピー代
18500 円
- 宅急便
1500 円
- 小計
27800 円
- 合計

29274 円

- 消費税

1394 円

5.4 販売結果

- 販売金額

800 円

- 販売部数

49 部 (1 冊はサンプルとして提出。)

- 売上げ

39200 円 (800 円*49 部)

5.5 次回のコミケ

手伝ってくださった方々、どうもありがとうございました。次回も本を作成して販売したいと思っています。申込書を購入していない (たぶん) と思いますので、委託になると思うので御協力先を探さないといけません。そのへんを考える必要があります。

6 個人提案課題



名前 _____

下記の空欄を埋めてください:

Debian の ()
に注目し ()
を実現するために 2006 年の Debian 勉強会では下記のテーマを実施
します

企画案 :

1. 2006 年の計画立案
2. ()
3. ()
4. ()
5. ()
6. ()
7. ()
8. ()
9. ()
10. ()
11. ()
12. 一年間の反省

7 グループ提案課題



名前 _____
名前 _____
名前 _____

名前 _____
名前 _____
名前 _____

Debian の ()
に注目し ()
を実現するために 2006 年の Debian 勉強会では下記のテーマを実施
します

下記の空欄を埋めてください: 企画案:

1. 2006 年の計画立案
2. ()
3. ()
4. ()
5. ()
6. ()
7. ()
8. ()
9. ()
10. ()
11. ()
12. 一年間の反省

8 次回



未定です。内容は本日決定予定です。
参加者募集はまた後程。



Debian 勉強会資料

2006 年 1 月 21 日 初版第 1 刷発行

東京エリア Debian 勉強会（編集・印刷・発行）
